

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(小児科定点、インフルエンザ定点)

第 47 週 平成28年11月21日 ~ 平成28年11月27日

今週のコメント

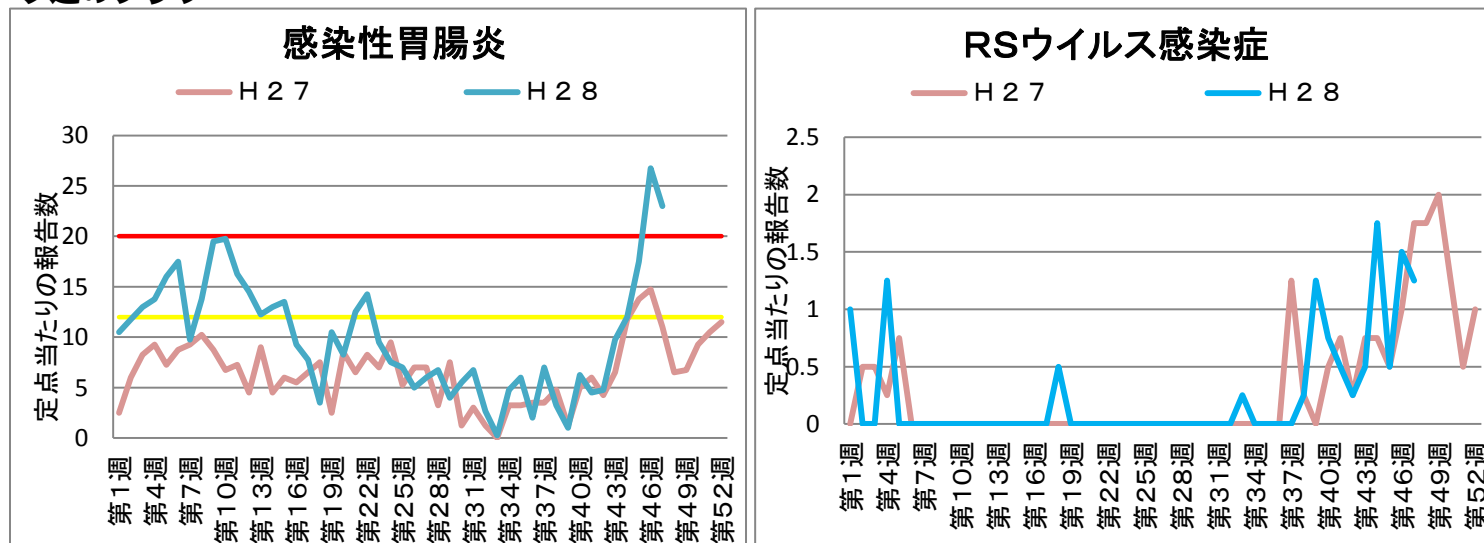
○ 感染性胃腸炎の報告が引き続き多く、流行警報基準値を超えています(定点あたり23.0件)。毎年冬場に流行する感染性胃腸炎の主な原因であるノロウイルスは、感染力が強く集団感染を起こしやすいのが特徴です。感染すると1~2日の潜伏期を経て、嘔吐、下痢などの症状がみられます。

○ 京都府内に食中毒注意報も発令されました。手洗いの徹底、食品の十分な加熱、嘔吐物・下痢便等の次亜塩素酸ナトリウム消毒液による迅速かつ適切な処理方法などを心がけましょう。

○ 詳細は「ノロウイルスに関するQ&A (厚生労働省)」をご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.43	手足口病	0.5
RSウイルス感染症	1.25	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	-	突発性発しん	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.5	百日咳	-
感染性胃腸炎	23	ヘルパンギーナ	-
水痘	2	流行性耳下腺炎	2

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

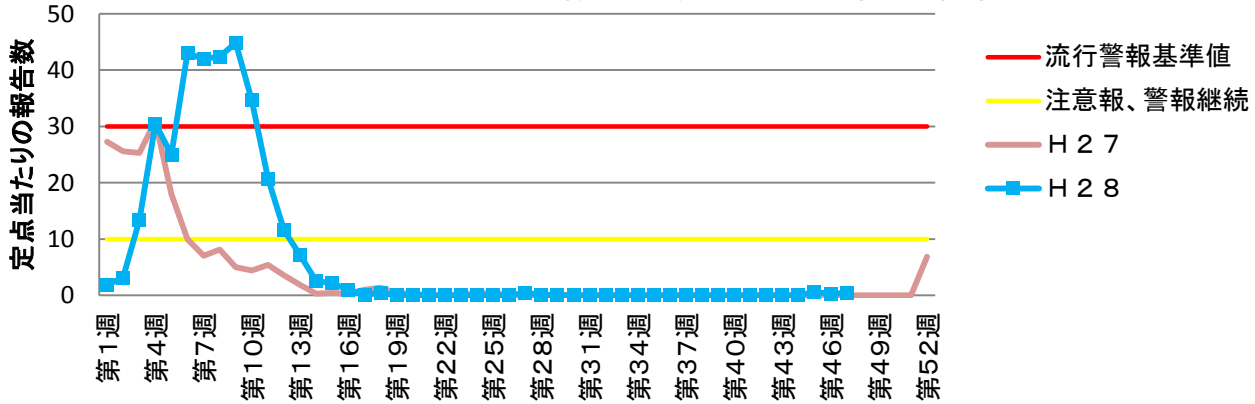
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

警報・注意報基準値の説明

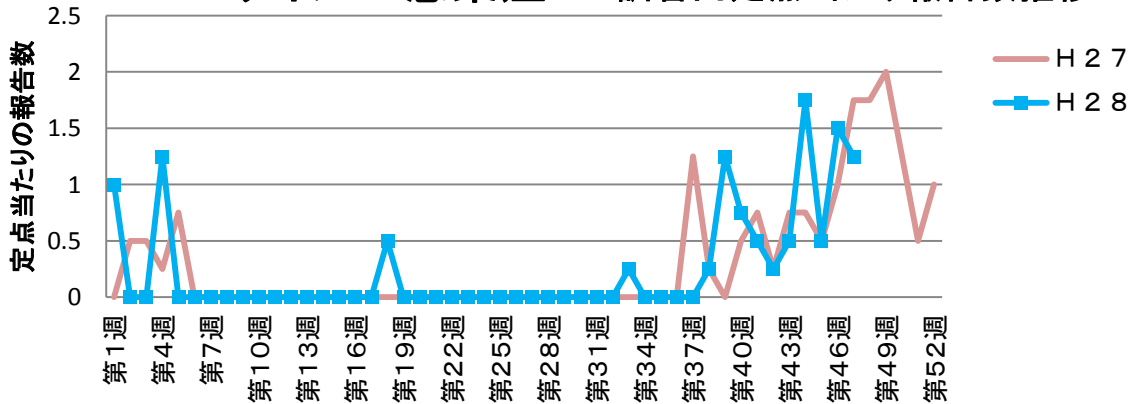
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

定点報告による各疾病の推移

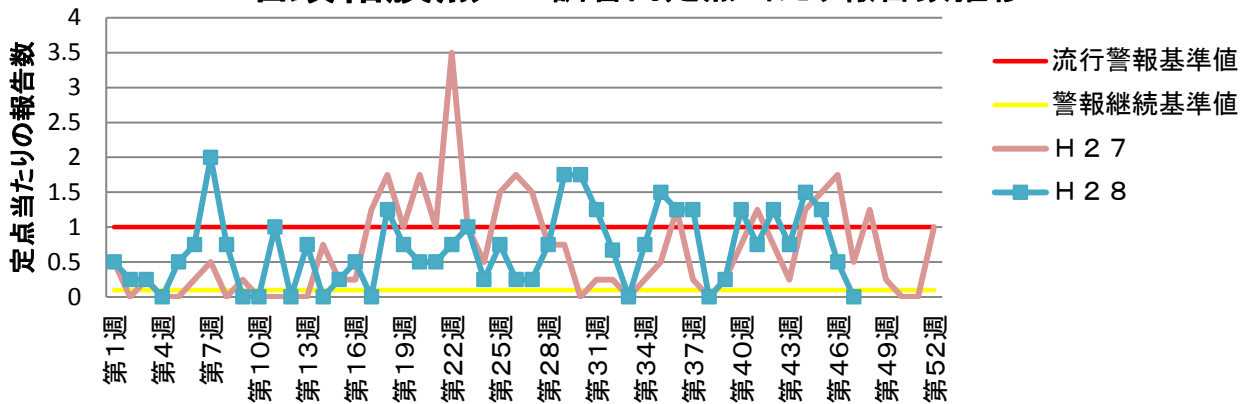
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



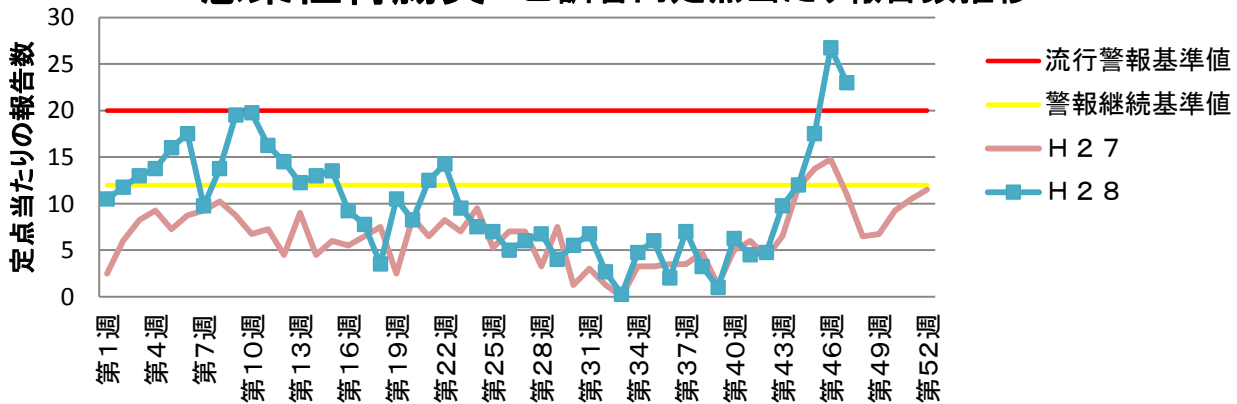
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



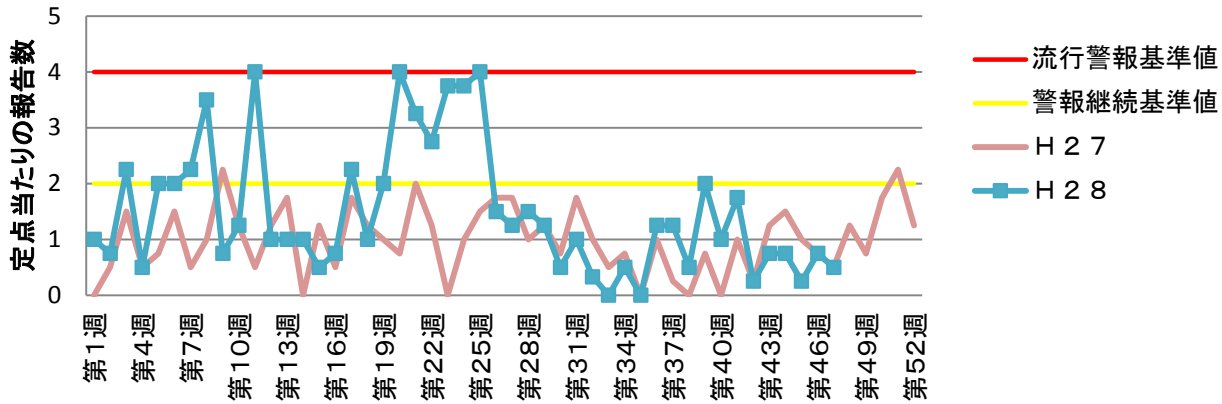
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



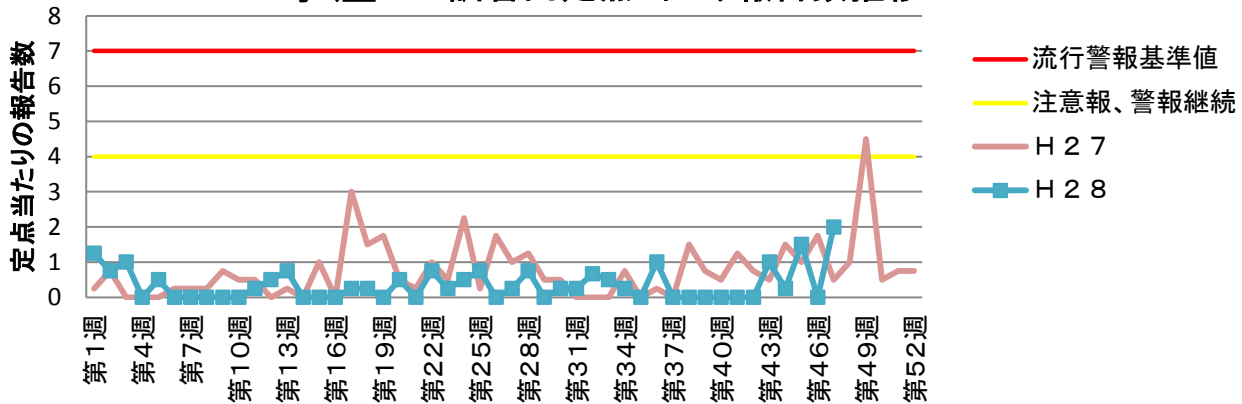
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



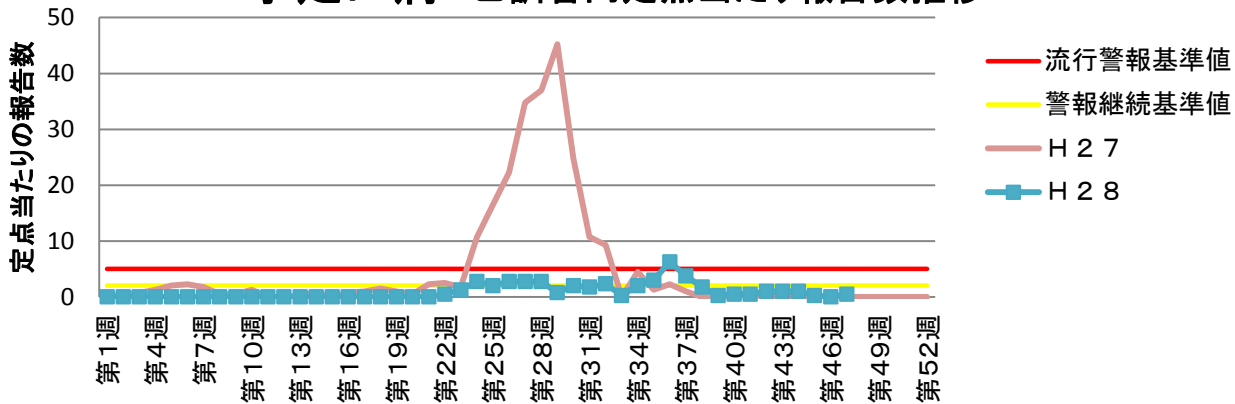
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



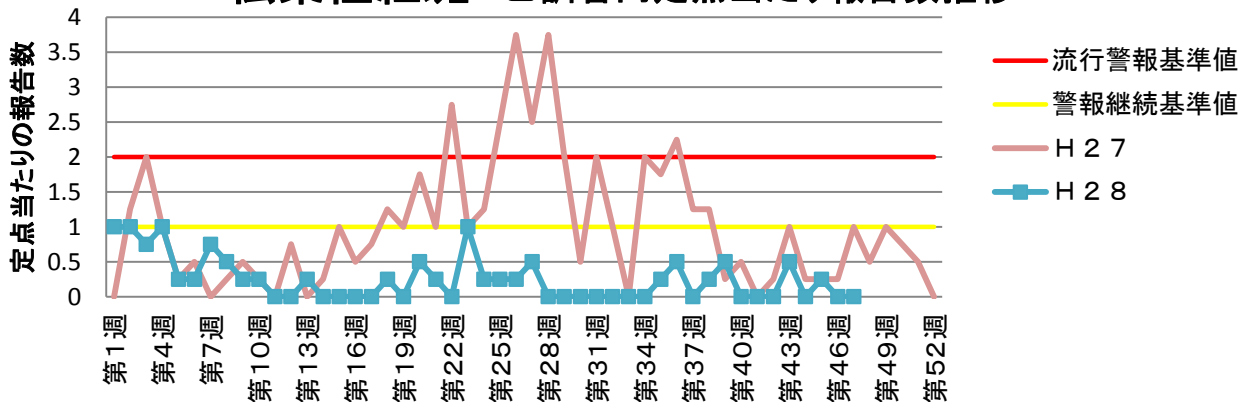
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



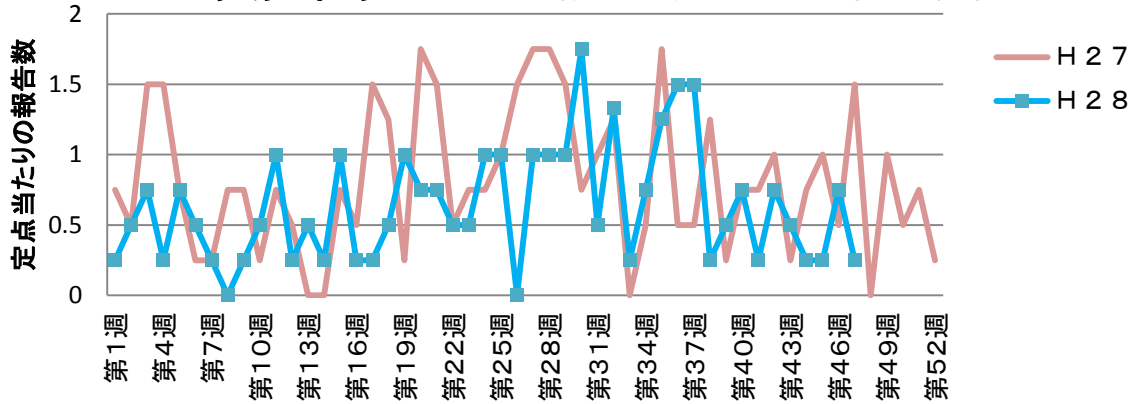
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



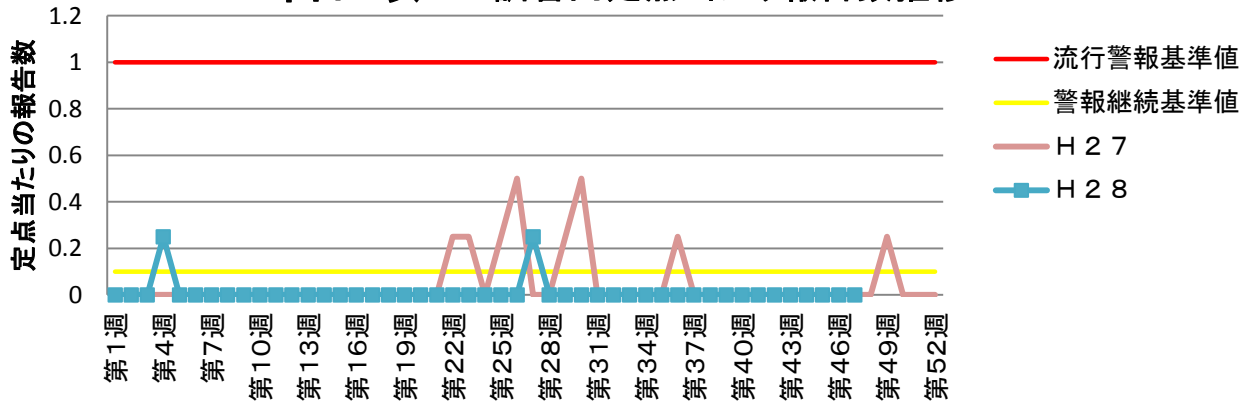
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



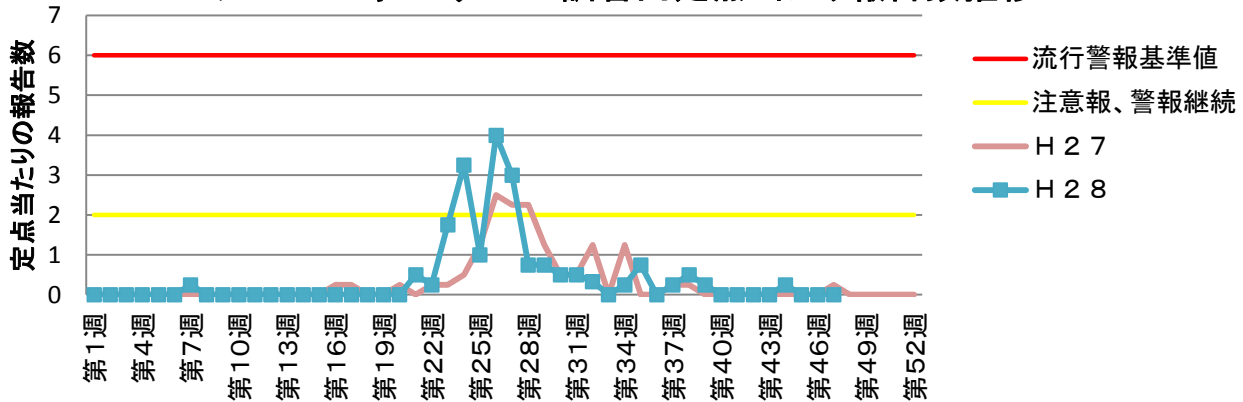
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

